

## 防犯伝道師を目指して

株式会社セキュリティハウス神姫（本社：兵庫県姫路市）  
ゼネラル・マネージャー  
工学博士  
総合防犯設備士（第 07-0228 号）



島田 竜也

私は兵庫県に本社を置く、株式会社セキュリティハウス神姫で勤務しています。当社は、カギの110番株式会社の防犯部門として1988年に創業し、27年を迎えます。（鍵部門のカギの110番株式会社は、1982年創業）兵庫県内に神戸、明石と支店を構え、錠前施工や防犯カメラ、セキュリティシステムや電気錠とあらゆる防犯に関する設備を取り扱っています。おかげさまで、今では一般家庭はもちろん、企業やマンション、寺社仏閣、商店街、教育施設と大型物件を含め幅広く数多くの商材を販売、施工させて頂いております。

私自身は、よくある話で、実の所、長男として創業者の父からの跡継ぎを踏まえ、今から10年前の30歳を機にこの業界に入って参りました。30歳までは、長く大学で研究者としての道を進み、2年間のメーカー勤務を経て、進路転換をした訳です。そんな私が、防犯業界に接して、まず感じた事は、「防犯」という言葉の曖昧さや、例えば、消防や建築に比べてもまだまだ未発達で、基準という言葉とは程遠いという事でした。「良い機器とは何をもって良いとするのか?」「各機器はどこに付けばよいのか?」「メーカー、警察、販売施工店、マスコミと誰の言う事を信じればいいのか?」

など、非常に曖昧な事も多いと感じました。ただ、一方で、ちょうどその頃から、2002年に定められた防犯建物部品であるとか、各地で始まりつつあった防犯モデルマンション（優良）制度が注目される時期でもありました。そんな折、先に話したよう、大学での研究者としての肩書や防犯設備士、総合防犯設備士資格もあった事などから防犯講演が舞い込むようになりました。最初は、地元の小さな会合や企業の展示会ブース等の小さな物でしたが、今では数百人を超える講演や県外各地からのご依頼を頂く事もあります。又、2007年から現在まで、兵庫県警察学校実務専科で防犯機器講師もさせて頂いております。

日々の防犯設備業や各地での防犯講演会の中で、常々思うのは、やはりまだまだ日本人の多くは防犯意識が高いとは言えず、情報も行きわたっていないという事実です。警察や行政、公益社団法人日本防犯設備協会等の各種団体も懸命に情報発信や啓蒙活動を行っているものの、地場に密着し、ユーザーサイドの思考を持ったボトムアップな草の根活動も急務ではないかと感じています。



鳥取県地域安全フォーラム講演会



西宮市安心安全まちづくり 防犯講演会

そこで本業である防犯設備業においては、チラシやインターネットを活用し、出来るだけ分かりやすくお客様に情報を提供できる環境の構築を目指しています。もちろん、単純な価格競争ではなく、コストパフォーマンスを考えたより良い商品サービスの提供にも努めております。また、企業として、高い技術力と知識を目指し、社内勉強会や資格試験の推奨を行っております。更に2011年からは地域FMラジオでは「防犯しまちゃんねる」という番組を開始し、パーソナリティを務めています。

現在、関係各所、皆様方のご尽力により、少しずつではあるものの日本の防犯意識は高まりつつあり、犯罪情勢も一時期に比べれば緩やかになったと言われています。防犯カメラやホームセキュリティも急速に普及はし

ています。しかしながら、やはり「日本は水と安全はタダ」という意識は根強く、世界標準から見れば日本の防犯は、まだまだ発展にあると考えています。でも、こんな黎明期な時代だからこそ、我々、防犯に携わる者が、コスト優先やユーザーに誤った知識を与えてしまうような土壌づくりをしないよう、今後もしっかりと我々が自ら学び、連携していかなければならないのではないのでしょうか。

結びになりますが、今回、このような掲載依頼を頂きました関係各所の皆様、ありがとうございました。明るい豊かな社会の実現と安全・安心のまちづくりを目指し、今後も、微力ながら地域の「防犯伝道師」を目指して活動して参りたいと思っています。



姫路市白浜小学校 PTA 対象講演会



宇治市市民安全・安心推進旬間事業講演会



熊本市熊日女性文化の会講演会



警察学校での授業の様子